

自分の経験を振り返る

4月の始業式では、「自分の外に世界を広げる」というテーマで話をしました。小さな子どもが公園のジャングルジムに登ると、今まで見えなかった風景が見えるという例えで、より見晴らしのよい場所に立つことで、自分の知らなかった世界を知ることができるという話でした。

前期を振り返ってみて、みなさんには「知らなかった世界」との出会いがあったのでしょうか。私も4月以降の自分の生活を振り返ってみましたが、これと違って新しい世界との出会いはなかったように思い、少し残念な気持ちです。

自分の直接の経験ではありませんが、この夏、全国大会に出場した男女バスケットボール部とサッカー部の話をします。他にも全国大会に出場したボクシング部、ソフトテニス部、剣道部、卓球部の応援に行くことができず、申し訳ありませんでした。

バスケットボールは東京の駒沢オリンピック公園内にある体育館と屋内球技場が会場でした。この2つの施設は1964年の東京オリンピックの時に、レスリングやバレーボールの会場となり、その後、改修工事や建て替えがありましたが、今でも世界大会や全国大会の会場として使用される場所で、数千人が入る観客席もあります。サッカーは静岡県の清水ナショナルトレーニングセンター

が会場でした。美しい天然芝のグラウンドで、サッカー日本代表やプロサッカークラブも利用する場所だそうです。

各都道府県の大会を勝ち抜いてきたチーム同士が対決し、これまでの練習成果を発揮し、あるいは勝ち進むうちにどんどん成長していく姿を目の当たりにして、応援していた私はとてもうれしく思いました。また、世界の、日本のトップアスリートたちと同じ場所でプレーすることは、選手のみなさんにとって、胸躍る経験だったと思います。来年もこの場所に戻ってくることを誓って、より一層、練習に励んでいることでしょう。

さて、全国大会は一例です。香風高校に入学して初めてアルバイトを始めた人、新しい友人ができた人。この夏、アルバイトに忙しかった人、受験勉強で毎日勉強ばかりしていた人、就職試験に向けて企業見学に行った人。

新しい経験によって「知らなかった世界」と出会うだけではなく、これまでの自分の考え方や価値観にどんな影響があったのか、また、自分の行動にどんな変化が生まれたのかを意識することがとても大切です。それがみなさんの学びであり、成長の証だからです。

今日は一日、一年の前半を振り返る日とし、10月には、後期入学生と一緒に新しいスタートラインに立ちましょう。

令和元年9月26日

兵庫県立西宮香風高等学校長

石川 照子